



朝霞第二小だより

【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

「AI時代に必要な力とは」

令和8年6月1日

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042

児童数 766名

校長 渡辺 貴子

生成 AI の急速な普及などにより、社会は今、私たちが経験したことのないスピードで変化しています。こうした「正解のない時代」を、子どもたちが力強く生き抜いていくための力を育てなければなりません。時代に合った教育の実現に向けて、私たち学校も日々アップデートを進めています。先日の校内研修では、本校教職員が「AIに負けず、変化の激しい社会を生き抜くために必要な力」について議論し、その内容を以下の4つの柱に整理しました。

1. 自ら「問い」を立て、0から1を生み出す力(知)

AIは過去のデータから答えを出せますが、新しいアイデアを生み出すことは苦手です。これからは、「考える力」「思考する意欲」を注ぎ、自分の考えを客観的に見つめる「**メタ認知**」を働かせながら、「0から1を生み出す力」が求められます。

2. 互いに認め合い、人と人をつなぐ力(徳)

どれだけ技術が進歩しても、人と人との心の繋がりは人間にしか築けません。「**相手を思いやる力**」をベースに、本音で「**互いに言い合える**」関係を作り、多様な人々との「**コミュニケーション力**」や「**社会性**」を育て、**協働**していく力が必要です。

3. 荒波の中でも、自ら舵取りしてやりぬく力(意志・適応)

変化の激しい社会では、変化を恐れない「**適応力**」が必要です。誰かに指示されるのを待つのではなく、「**主体的に学びに向かう力**」と「**自ら舵取りする力**」を持ち、困難に出合っても「**やりぬく力**」「**忍耐力**」を持って「**実行**」に移せる強さが大切です。

4. 溢れる情報に溺れず、正しさを見極める力(リテラシー)

インターネット上には正しい情報も誤った情報も溢れています。これからの子どもたちには、情報をただ受け取るだけでなく、「**ファクトチェック**」を行い、「正しい答えと間違いを**判断する力**」が必須です。高い「**ネットリテラシー**」と「**情報を取捨選択する力**」を身に付けさせたいと考えています。

学校では、これらの力を子どもたちが日々の授業や行事、友達との関わりの中で失敗を繰り返しながら学んでいく場所です。ご家庭でもぜひ、「今日学校でどんなことを考えた?」といった言葉がけから、子どもたちの「考える一歩」を応援していただければ幸いです。

